

プログラム

11月29日(土)

開会式

1会場(A2-21) 8:50~9:00

JPTEC ブラッシュアップセミナー

1会場(A2-21) 9:00~10:50

司会：石川 賢治(山梨県甲府地区消防本部)

河西 忍(山梨県甲府地区消防本部)

座長：井上 潤一(山梨県立中央病院 救命救急センター)

杉本 桂司(山梨県上野原市消防本部)

1 石川県ブラッシュアップセミナーの現状について

山森 仁一郎 七尾鹿島消防本部(石川県)

2 統計から見た JPTEC 中部の更新コースの現況

金子 洋 名古屋市消防局(愛知県)

3 資格更新コース開催の現状と課題

新村 友志 恵那市消防本部(岐阜県)

4 静岡県の更新コースの現状について

田京 康弘 伊東市消防本部(静岡県)

5 福井県における更新コースの現状について

朝倉 雄一 福井市消防局(福井県)

6 JPTEC 更新コース富山県の現状報告

伊藤 宏保 厚生連高岡病院(富山県)

7 長野県更新コースの取り組み

菊池 幸喜 諏訪広域消防本部(長野県)

8 三重県での更新コースにおける取り組み

石倉 健 三重大学医学部附属病院救命救急センター(三重県)

9 山梨の更新コース現状と課題

山西 正悟 峡北消防本部(山梨県)

特別講演 共催：鳥居薬品株式会社

1会場(A2-21) 11:00~12:00

座長：松田 兼一(山梨大学医学部 救急集中治療医学講座)

**プレホスピタルケア(PhC)・
メディカルコントロール(MC)体制の展望**

平澤 博之 千葉大学 名誉教授、東千葉メディカルセンター、
千葉県・千葉市メディカルコントロール協議会

教育講演 1

2会場 (A2-11) 9:00~9:50

座長：奥寺 敬 (富山大学医学部 救急・災害医学講座)

脳卒中治療の進歩

金丸 和也 山梨大学医学部 脳神経外科学講座

教育講演 2

3会場 (A2-12) 9:00~9:50

座長：松田 直之 (名古屋大学大学院医学系研究科 救急集中治療医学)

敗血症への挑戦

山口 均 大垣市民病院 救命救急センター

教育講演 3

2会場 (A2-11) 10:00~10:50

座長：小倉 真治 (岐阜大学大学院 医学系研究科 救急・災害医学分野)

ドクターヘリ、ドクターカー運用の現状と課題

岩瀬 史明 山梨県立中央病院 救命救急センター

教育講演 4

3会場 (A2-12) 10:00~10:50

座長：中川 隆 (愛知医科大学病院 高度救命救急センター)

ER 初期診療のピットフォール

林 寛之 福井大学医学部附属病院 総合診療部

教育講演 5 共催：アレクシオンファーマ合同会社

2会場 (A2-11) 13:20~14:10

座長：田中 茂 (社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院 救命救急センター)

aHSU の治療における新たな進歩と挑戦

伊藤 秀一 横浜市立大学附属病院 小児科

教育講演 6

3会場 (A2-12) 13:20~14:10

座長：今井 寛 (三重大学医学部附属病院 救命救急センター)

脳心肺蘇生の up to date

永山 正雄 国際医療福祉大学 熱海病院 脳卒中・神経センター 神経内科

座長：稲葉 英夫(金沢大学医薬保健研究域医学系 血液情報発信学(救急医学))
祖父江 和哉(名古屋市立大学病院麻酔科・集中治療部)

[救急領域における到達点と未来]

S-1 早期経腸栄養の実践と問題点

○祖父江 和哉¹⁾、笹野 寛²⁾

1)名古屋市立大学病院麻酔科・集中治療部、2)名古屋市立大学病院救命救急センター

S-2 心拍再開までの情報による予後予測

○後藤 由和

金沢大学附属病院 救急部

S-3 院内トリアージで認識困難な僅かな頻呼吸の危険性

○望月 勝徳¹⁾、新谷 りょう介²⁾、森 幸太郎²⁾、坂口 治²⁾、今村 浩¹⁾

1)信州大学医学部附属病院 救急科、2)長野市民病院 救急科

S-4 JAAM-OHCA レジストリの展望

○名知 祥¹⁾²⁾

1)岐阜大学医学部附属病院 高度救命救急センター、2)日本救急医学会 OHCA 特別委員会

S-5 山梨県メディカルコントロール体制の現状と課題

○久保寺 兼義¹⁾²⁾

1)山梨県 総務部 防災危機管理課 消防保安室、2)甲府地区広域行政事務組合消防本部 総務課

座長：鈴木 猛康(山梨大学工学部 土木環境工学科)
森口 武史(山梨大学医学部 救急集中治療医学講座)

[救急システムは機能するか 富士山噴火時のシミュレーション]

PD-1 激甚災害時の地域災害拠点病院の役割

○太田 文人

白根徳洲会病院

PD-2 救急災害医療からみた富士山噴火：どう備え、いかに対応すべきか？

○井上 潤一、宮崎 善史、上川 智彦、木下 大輔、加藤 頼子、池田 督司、大嶽 康介、松本 学、
小林 辰輔、岩瀬 史明

山梨県立中央病院 救命救急センター

PD-3 災害派遣における民間医療組織と自衛隊との連携に関して

○森崎 善久

自衛隊阪神病院

PD-4 大規模災害への地域消防の備えと問題点

○萱沼 実
富士五湖消防本部 消防課

PD-5 噴火災害における報道機関の役割 ～その時に備えるために～

○田中 勝也
テレビ山梨 報道制作局報道部

PD-6 富士山火山広域避難計画について

○山下 憲美
山梨県総務部

PD-7 災害時における医療救護体制について

○渡邊 雅人
山梨県 福祉保健部 医務課 医療整備担当

ランチョンセミナー1 共催：旭化成ファーマ株式会社**1会場 (A2-21) 12:10～13:10**

座長：野口 宏 (愛知医科大学病院 高度救命救急センター)

敗血症による MOF 対策

池田 寿昭 東京医科大学八王子医療センター 特定集中治療部

ランチョンセミナー2 共催：ホスピーラ・ジャパン株式会社**2会場 (A2-11) 12:10～13:10**

座長：森口 武史 (山梨大学医学部 救急集中治療医学講座)

**痛み・不穏・鎮痛の評価と管理
～日本版 PAD ガイドラインを中心に～**

杉田 学 順天堂大学医学部 救急・災害医学研究室

ランチョンセミナー3 共催：泉工医科工業株式会社**3会場 (A2-12) 12:10～13:10**

座長：岡田 真人 (聖隷福祉事業団 法人本部)

Respiratory ECMO 最新の動向2014

市場 晋吾 岡山大学附属病院 地域医療学